

第22回 基盤教育ワークショップ 要項

趣 旨： 学士課程教育におけるFDが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員および「FDネットワーク”つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

日 時： 令和2年9月4日（金） 10：00 ～ 15：30（予定）

開催方法： Zoomによるオンライン開催

主 催： 山形大学教育開発連携支援センター

時間	プログラム
9:50	Zoom接続開始
10:00	開会 司会・挨拶 山形大学教育開発連携支援センター長／教授 栗山恭直
10:15 (90分)	<p>【第1部】基調講演</p> <p>講 師： 茨城大学全学教育機構 准教授 鳶田 敏行 氏 演 題： 茨城大学の遠隔授業から見えてきた 授業の質を高めるいくつかの方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><講演内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国の大学で、遠隔授業が実施された。多くの大学にとっては大規模な遠隔授業の実施は初めてのことであり、茨城大学においても「走りながら考える」というような運用を余儀なくされた。</p> <p>茨城大学では、データダイエットの要請もあったため、カメラオフを基本とし、リアルタイム音声配信と教材の画面共有というスタイルを多くの教員が選択した。現時点では、幸いなことに大きなトラブルもなく、授業が実施できている状況である。これは、多くの教員が遠隔授業の実施に際し、教材を見直したり、教え方の工夫をするなど、学生のために授業の質を高めていった結果であると考えている。</p> <p>このような取り組みの中で、今後にも活かせる「授業の質を高めるいくつかの方法」が学生向けの授業アンケートなどの調査結果や教員向けの遠隔授業実態調査結果から見えてきた。それらについて解説するとともに、オンラインコンテンツにおける著作権の取り扱いの実例などについても報告したい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><講師紹介></p> <p>平成15年3月 金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程地球環境科学専攻単位取得退学 平成15年4月 茨城大学総務部総務課採用 平成17年3月 茨城大学評価室 平成26年10月 茨城大学大学戦略・IR室 平成28年8月 全学教育機構総合教育企画部門</p> </div>
11:45	質疑応答
12:00	休憩
13:30 ～ 14:30 (60分)	<p>【第2部】ラウンドテーブル</p> <p>○第1分科会：外国語教育における遠隔授業の実践例をめぐって コーディネーター：山形大学人文社会科学部 教授 佐藤 清人 パネリスト：山形大学学士課程基盤教育機構 准教授 Gloag, Douglas 山形大学人文社会科学部 准教授 小泉 有紀子</p>

13:30
～
14:30
(60分)

山形大学人文社会科学部 准教授 攝津 隆信
山形大学人文社会科学部 准教授 許 時嘉

<概要>

コロナ感染拡大防止のため、令和2年度前期の授業はほぼすべての授業が遠隔授業で行われました。対面授業から遠隔授業に移行したことで最も影響を被った授業科目のひとつが外国語科目です。外国語科目では、学生と教員あるいは学生同士の直接的な会話が必須ですが、遠隔授業では困難であり、それを補うべくさまざまな工夫がなされました。

この分科会では、英語から2名、初修外国語から2名（ドイツ語と中国語）の併せて4名の授業担当者から遠隔授業の実践例を報告していただき、その後、参加者の皆さんとの質疑応答や意見交換を通して、遠隔授業による外国語教育の可能性と限界を探ってみたいと思います。

○第2分科会：実験・実習系の事例紹介

コーディネーター：山形大学理学部 教授 栗山 恭直
パネリスト：山形大学地域教育文化学部 准教授 池田 英治
山形大学理学部 教授 松井 淳
山形大学理学部 教授 脇 克志

<事例のテーマと概要>

「スポーツ実技からスポーツセミナーへ」 池田 英治 准教授

- ①授業形態の変更【実技→演習】
- ②授業形態の変更に伴うシラバスの統一化
- ③教育内容【実技と講義のバランス】
- ④非常勤講師の掌握

「オンライン学生実験の実際と課題」 松井 淳 教授

主として化学分野を希望する学生が履修する分析化学実験について、そのオンラインの実施方法と問題点について報告する。

「USBメモリーを使ったデータ解析実習」 脇 克志 教授

山形大学における全学データサイエンス教育に向けた試みとして、今年度前期に、文系1年生を対象とした「データサイエンス基礎」という講義を行いました。具体的なデータの取得、可視化、処理、解析を中心にプログラミングや数字を前提としないデータ解析実習の様子を報告します。

○第3分科会：一般講義（大人数受講）

コーディネーター：山形大学人文社会科学部 教授 下平 裕之
パネリスト：山形大学学士課程基盤教育機構 准教授 橋爪 孝夫
山形大学学士課程基盤教育機構 准教授 山本 美奈子
山形大学理学部 教授 小倉 泰憲

<概要>

遠隔講義の開始に伴い、対面を前提とした従来型の講義についてもその内容の大きな変更を余儀なくされています。各教員は試行錯誤の中で、それぞれの講義科目の特性を踏まえた様々な工夫を行っています。この分科会では一般の講義科目の中から、以下の事例についてご紹介いただくと共に、参加者の方々と情報を共有しながら遠隔講義のあり方について議論してみたいと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤共通教育導入科目の大人数型授業「スタートアップセミナー」の遠隔授業化についての工夫と、教育効果にはどう現れたかを報告します（橋爪）。 ・コロナ感染拡大に伴い、新たにオンラインによるインターンシップ事前学習プログラムを産学連携で開発しました。今回は内容と課題について報告します（山本）。 ・チャットを主軸とした授業の実践報告をします。事前準備の労力が少ないことと、対面型とシームレスに切り替えられる可能性を有することが判明しました（小倉）。
14:30 ～ 15:30 (60分)	情報交換・解散 (グループワークで情報交換を行います。分科会ごとに解散となります。)

参加お申し込みはこちらから↓→

<https://em-q.kj.yamagata-u.ac.jp/index.php/425779?newtest=Y&lang=ja>



参加申込〆切：令和2年8月30日（日）

※後日、受付確認のメールをお送りいたします。3日以内（土日祝日及び8/13～8/17を除く）に受付確認メールが届かない場合は、023-628-4720までお問い合わせください。